

## 輪島地区 道路復旧・復興促進協議会（第2回）

### 議事概要

1. 日時：令和7年3月21日（金）13:00～14:00

2. 場所：輪島市役所本館4階 第2会議室

3. 出席者：別紙「出席者名簿」の通り

4. 議事：

1) 国道249号の復旧について

2) 県道輪島浦上線の復旧について

3) 県道珠洲里線の復旧について

4) 市道まがき線おさよトンネルの復旧について

5. 開会（挨拶：川村会長）

発災から1年3か月が経過し、道路の復旧・復興は着々と進んでおり、国道249号なども、復旧方針が決まりつつある。この協議会では、国・県・市が協力して道路ネットワークの再構築を進め、その状況を一般の方々へお知らせすることが目的である。道路復旧の青写真を示すことで、地域のまちづくりや町おこしのきっかけになることから、道路の復旧・復興の状況をしっかり示していただきたい。

6. 議事概要

1) 国道249号の復旧について

<国土交通省能登復興事務所>

- ・長期間通行止めとなった5か所については工事が順調に進んでいる。
- ・大川浜工区や逢坂トンネル工区は緊急車両や地元車両のみ通行可能となっており、この冬を経て道路の状況を検証し、一般供用に向けて慎重に判断していく。
- ・中屋トンネル工区は、夏までにトンネルを活用した一般交通の確保を目指している。
- ・その他工区も含め、年度内に復旧方針を示す予定。

2) 県道輪島浦上線の復旧について

<石川県道路整備課>

- ・現時点で県管理道路の8路線17箇所が通行止めとなっている。
- ・門前町浦上から下山町の約15キロにおいて、昨年末に緊急車両や地域住民の車両限定で供用を再開した。
- ・現在は、一般車両も通行できるよう、法面对策工事を継続して実施しており、供用再開時期はまだ示すことはできないが、早期復旧に努めていく。

<石川県道路建設課>

- ・鶴入地内において、大規模な斜面崩落や橋梁の損傷などの被災を受け、現道復旧に

は斜面の崩落対策や土砂の除去、グラウンドアンカーの設置など複数の対策が必要であり、復旧には長時間を要し、コストも大きくなり、道路勾配も約 10%となる。

- ・これに対し、別ルート案のトンネルでは、現道復旧に比べて工期を短くでき、コストも小さく、道路勾配を 6%程度に抑えることができる。

#### <輪島市>

- ・地元の方々からはトンネル案に対する反対意見は無く、1 日でも早い復旧を強く望む声が寄せられている。市としても住民の意向を尊重し、トンネルでの早期復旧をお願いしたい。

### 3) 県道珠洲里線の復旧について

#### <石川県道路整備課>

- ・宇出津町野線より西側については、国と連携しながら、珠洲里線の代替となる金蔵川西線を応急復旧として、仮設道路の整備を行い、1月23日に、緊急車両や地元車両に限り供用を再開した。
- ・一般車両の通行再開に向け、引き続き地すべり対策等の作業を進めていきたい。

#### <石川県道路建設課>

- ・西側工区については、現道を復旧する場合、広範囲において大規模な斜面对策が必要となる。またアクセスや冬季の施工が限られるため長期間の工期を要する。これらを踏まえて、県では、別ルート案として柳田里線、金蔵川西線を活用したルートでの復旧を進めたい。
- ・東側工区については、急峻な地形であり復旧にはコストも時間もかかると想定される。現道は縦断勾配が急であり、迂回ルートも含めて引き続き調査検討をしていきたい。

#### <国土交通省能登復興事務所>

- ・権限代行で復旧している町野川・鈴屋川について、河道の土砂撤去や護岸の応急復旧を引き続き実施しており、今後本復旧に際して珠洲里線と近接する箇所について調整が必要となることから、情報共有をお願いしたい。

#### <輪島市>

- ・西側工区については、地元からも一部トンネルとなる別ルート案に反対する声は聞いていない。とにかく一刻も早く復旧をお願いしたいとの声が多く、別ルート案で進めたい。

現道については、一部道路啓開済で車両は通行可能であるが、地元の方が、家屋から荷物等を搬出するため、もう少し路面状況を改善してほしいという意見もあるため、対応をお願いしたい。

- ・東側工区については、まだ地元との調整が進んでいないので、引き続き、地元と調整の上意見をまとめていきたい。

#### 4) 市道まがき線おさよトンネルの復旧について

##### <石川県道路建設課>

- ・豪雨により被災した皆月側坑口の堆積土砂の撤去や応急対策工事が進められており、ゴールデンウィーク前までに、緊急車両や地元車両に限り供用を再開する予定である。
- ・トンネル本体については、被災した覆工コンクリートの取り壊しを終え、被災状況を概ね把握したところである。
- ・今後、本復旧工事は令和7年夏頃より着手することとしており、日中に交通を開放しながら夜間施工とする予定であるが、工程によっては、日中も通行止めを行う場合もある。

##### <輪島市>

- ・地元住民からは早期開通への感謝の声が寄せられている。
- ・一方、豪雨で土砂や流木が流出したが、新たに堆積した土砂により今後被害が出ないか地元住民は懸念しており、対策方針を考えていく必要がある。

##### <奥能登土木総合事務所>

- ・国や市のご協力により道路状況が改善してきたことに対し感謝を申し上げる。道路の復旧に際して、調査・設計段階から安全性を考慮し、復旧した道路が再び被害を受けないような対策を講じる必要があることから、引き続きご指導いただきたい。

#### 7. 閉会（挨拶：川村会長）

地元の方々は道路の早急な復旧を望んでいる。技術や予算の課題は解決できても、用地や残土など、人との問題は解決が難しいことから、迅速に復旧作業を進めるためには、関係者間の連携を密にしながら課題に対応していくことが重要である。